

2015年度「NPO等助成事業」

総額 21団体

# 935.9万円の 助成決定



「スゲ細工創作館の整備及び活用事業」十二支のスゲ細工

2015年度「NPO等助成事業」の助成団体が決定しました。

本事業は、NPO等市民活動団体の支援を通して、広く県民勤労者をはじめとする県民福祉の向上を図ることを目的に2003年度から実施しています。この度21団体総額935.9万円の助成が決定しました。

本年度は、例年になく多くのNPOや市民活動団体からの申込がありました(公募86団体)。助成先の選考にあたっては、5月9日(土)に書類選考会を行い、5月23日(土)に、書類選考を通過した団体のうち8団体から助成事業のプレゼンテーションによる面接選考会を行いました。

選考の結果、21団体「公募20団体、非公募(若者支援事業)1団体」に対し総額935.9万円の助成を行うことを決定しました。



■選考委員

(順不同・敬称略)

氏名	所属
齋藤 敏明(選考委員長)	(一社)新潟県労働者福祉協議会
江口 昌樹(副選考委員長)	敬和学園大学
井上 基之	認定NPO法人 新潟NPO協会
加瀬 由紀子	—
近藤 尚仁	(特非)くびき野NPOサポートセンター
笹川 克年	新潟日報社報道部
丸山 仁	新潟医療福祉大学

■実績累計

	応募団体	助成団体	助成金額(万円)
2012年度までの累計	605	189	9,048.2
2013年度	56	16	904.4
2014年度	58	20	945.6
2015年度	87	21	935.9
総累計	806	246	11,834.1

※2015年度応募団体内訳(公募86団体、非公募1団体)

■応募状況(応募総数86団体) ※非公募1団体除く

活動分野テーマ分類	件数
保健・医療又は福祉の増進を図る活動	38
環境の保全を図る活動	6
まちづくりの推進を図る活動	5
社会教育の推進を図る活動	9
子どもの健全育成を図る活動	4
人権の擁護又は平和の推進を図る活動	2
学術・文化・芸術又はスポーツの振興を図る活動	3
科学技術の振興を図る活動	2
経済活動の活性化を図る活動	1
職業能力の開発または雇用機会の拡充を支援する活動	1
その他	15
合計	86

(一財)新潟ろうきん福祉財団は、新潟県労働金庫が創立30周年を記念して、1983年に設立した一般財団法人です。

当財団は、広く県民の暮らしの向上と福祉の増進に役立つことを目的としてNPO等助成事業のほかにも、自立した持続可能な地域社会創造事業、地域社会福祉団体への助成、大学奨学金貸与事業、高校奨学金給付事業、ワーク&ライフフォーラム・セミナー開催事業、文化講演会等開催事業、ライフプランセミナー開催事業、調査研究事業を展開しています。



## 助成団体一覧

団体名	所在地	助成額 (万円)	助成金使途
特定非営利活動法人 ワーカーズコープ北陸信越事業本部	新潟市	96.0	「地域の達人ネットワークづくりプロジェクト～おせっかいの輪が若者の成長を育み、地域を創生する～」 ①専門性、未所型にこだわらない、地域のあらゆる人の力を結集させた若者支援の仕組みづくりを目指した「ネットワーク形成」の取り組み②地域にいる、あらゆる分野・職種の達人に呼びかけ、若者の就労体験を地域でサポートする仕組みを創る③就労体験から就労への移行という地域のインフォーマルな就労移行の仕組みから、地域活性化の担い手づくりを地域と共に実践する。
特定非営利活動法人 平丸スゲ細工保存会	妙高市	93.0	「スゲ細工創作館の整備及び活用事業」 十二支のスゲ細工の発祥地、妙高市平丸地区に古民家を借りて「スゲ細工創作館」を開設し、現存する貴重な等身大「スゲうま」「スゲうし」や十二支のスゲ細工、資料、写真等を常設展示し保管する。スゲ細工作りの作業拠点として、講習会・研修会等を開催し、作製者数拡大を図る。
特定非営利活動法人 子どもセンターぽると	新潟市	92.0	「子どもシェルター事業」 平成26年12月新潟市内に「子どもシェルター」を開設、運営を開始しているが、その建物の玄関土間の割れ、外壁のひび割れ、雨樋の割れ等が一を想定すると危険な箇所が存在している。その補修を行うことで利用している子ども達が安心して安全に生活を送れるようにする。
特定非営利活動法人 おりづる	上越市	87.0	「ケーキ・菓子部門の新設」 従来、店内のみで提供を行ってきたケーキを専門的に利用者に製造して店頭販売を行う。店内にて「珈琲・ケーキ・菓子」の飲食コーナーを設ける。職業指導員の採用により製造種類を増やし、事業費及び作業工賃の増額につなげていく。
特定非営利活動法人 高田誓女の文化を保存・発信する会	上越市	76.0	「誓女資料と作品等展示の設備導入事業」 湿度湿度管理や防火防火対策と合わせて、貴重な資料等を展示公開するための専用ケースを導入し、展示用の補助的な備品類を整備する。なお「麻屋高野」の建物については、上越市の補助事業を活用して2か年計画で進行中であり、本年秋のプレオープンを目指している。
NPO法人 共同パッケージ	新潟市	75.0	「憩いの場創設事業」 施設内の作業用資材を保管している場所を事業スペースとして整備する計画の為、別途資材の保管場所の確保が必要となる。既存の施設内の一角を仕切り、通所者の利用できる空間を整備する。そのスペースを確保するため、現在、施設内に保管してある作業資材を移し保管するための倉庫を施設外に設置する。
特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター	新潟市	56.0	「設立25周年記念シンポジウム開催「国際協力と地域づくり・人づくり」 当団体の設立25周年を契機として今までもっとも力を入れてきた「世界と新潟の人材育成の重要性」を発信するシンポジウムを開催する。元ベトナム人奨学生、NGOと企業連携に関する第一人者、CSR事業に取り組む企業へ就職した若者をゲスト講師として招聘し地元新潟での国際協力活動が、途上国だけではなく、新潟の人材育成及び若者の人材流失を防ぎ新潟の地域づくりの一助としたい。
特定非営利活動法人 まちづくり学校	新潟市	50.0	「2015オープンスクール」 ワークショップ、ファシリテーションの手法・スキルを中心に伝えるのではなく、「現場でどう活用するか」「実際のまちづくりにどうつなげるか」などの応用術を含めた研修を、県内4カ所で実施する。
東小千谷 夢あふれるまちづくり活性化協議会	小千谷市	50.0	「東小千谷除雪支援事業」 東小千谷地区の高齢者や自分で除雪が出来ない世帯の要望を受け、ボランティアにより除雪応援隊(仮称)を組織して除雪の支援(有償)をおこない住民の不安を軽減する。(初年度目標:除雪支援会員登録20名、ボランティア登録10名、支援回数20回)
NPO法人 新潟ブルーサークル	見附市	40.0	①「糖尿病を知る集い」ポスターコンテスト イベントポスター作製を健康で医療とは縁の遠い学生に取り組みでいただくことで糖尿病啓発につなげる。 ②ボランティアメンバー定例会での「糖尿病エキスパート学習会」 糖尿病啓発イベントボランティアの為に学習会で、糖尿病専門医から直接講演を聞き、交流することで糖尿病について最新の知識を身に着けることができる。
特定非営利活動法人 女のスペース・ながおか	長岡市	30.0	①ドキュメンタリー映画「何を飾れる」上映&上野千鶴子講演会の開催。女性たちの草の根運動と国連世界女性北京会議からの20年を振り返り、これからに向けた新たな一歩の始まりとする。 ②DV・虐待 親と子どもの回復を援助する「支援者養成講座」(コンカレントプログラムの実施) 養成により、各自自治体の相談業務担当者の資質が向上する。 ③日本子ども虐待防止学会学術集にいがた大会における分科会に参画する。 現場の実践を発表することにより、研究者との交流が生まれ、より良い成果が得られる。
魚沼昆虫同好会	魚沼市	30.0	「絶滅危惧種・貴重種の保護と里山地域の活性化」 ①福山新田における植物・昆虫の詳しい生態系調査。絶滅危惧種や貴重種の調査で分布を明確にする。生態についての資料作成。②自生している貴重種の種子からの栽培と販売。③緑のふるさと広場「福山森林体験の家」を核とした自然体験活動の充実
りてらこや新潟	新潟市	28.0	「外国につながる児童生徒の学習・就労支援事業」 学習支援ボランティアの派遣と長期休暇中の学習会を行い、特にこれまで支援のなかった高校生への学習支援を強化する。高校卒業後の就労につなげられるような場を立ち上げが可能か調査をする。
新潟平和研究センター(CPSN)	新潟市	24.0	「非暴力トレーニング・ワークショップ広報事業」 本会は非暴力トレーニングをより多くの新潟市民に知ってもらい、構造的暴力の克服を目指している。新潟平和研究センターのこれまでの活動報告と実践した理論を紹介する報告集と本会が行っている非暴力トレーニング・ワークショップ・講座の参加を呼び掛けるリーフレット作成する。
声のボランティアグループ 桃花会	新潟市	20.0	「新人養成を行う為新会員の為のパソコン整備」 視覚障がい及び病氣等で自力で本や広報を読めない方のために文字を音声にしてパソコンに録音しCDを作成します。パソコンを使用することにより長時間の録音がCD1枚ででき、利用者の方に情報を早く届けられるようになる。
NPO法人 ウィメンズサポートセンターにいがた	新潟市	20.0	「シェルターの拡充事業」 シェルターに入所した女性や子ども、高齢者等が安心安全感を持って過ごすために、シェルターの居住環境は大変重要である。とくに近年高齢のDV被害者や虐待被害者の入居が増える傾向にある。入居者の中からも空調やTVの視聴環境等の充実などを望む声が増えているので、その声に少しでも応えるために備品等を充実したい。
特定非営利活動法人 女のスペース・にいがた	新潟市	20.0	「(公財)新潟県女性財団「女・男フェスティバル」・新潟市「アルザフォーラム」でのワークショップ開催」 教育現場の方、行政の方、医療機関の方などからパネリストになっていただき、パネルディスカッションをした後、参加者のみなさんとグループワークを行い、更に理解を深めていく事を考えている。
認定NPO法人 にいがた・オーティズム	新潟市	14.0	「発達障害児の療育用教材・遊具の保管設備設置」 療育効果を高めるためには個々に応じた教材・遊具を使用する必要があるが、今後それが増える事が予想される。子ども達に安全かつ余裕を持ったスペースでの療育を提供するために教材、体育用遊具等の保管場所を確保する。
特定非営利活動法人 糸魚川さじき席	糸魚川市	13.0	糸魚川市は「相撲のまち」として、市立能生中学校相撲クラブや県立海洋高校相撲部が全国大会で優勝するなど活躍していますが、選手のほとんどが市外、県外出身者です。人口増と交流には大きな貢献をしていますが、地元選手を育てる為、市内外の小学校対抗相撲大会を開催する。
草水地域のお茶の間「たか坪の会」	新潟市	12.0	「床の張り替え工事」 旧コンビニを借り実施していますが、立ち上げ時の資金では全面改修が困難で床部分をそのままとした為、相当汚れが目立っており、コンクリートむき出しの部分もあり、衛生上また高齢者の安全上も問題がある為、ビニールクロスによる張り替えを実施する。
特定非営利活動法人 自立生活センター新発田	新発田市	9.9	「相談支援パソコン整備事業」 平成26年10月より、計画相談支援事業を開始、現在使用しているパソコンの性能不足と老朽化が進み動作が不安定です。安定した作業環境を得る事で機器の故障を未然に回避し円滑な対応が行え、迅速な支援につながる。
<b>合計 (21団体)</b>		<b>935.9</b>	